



白小だより

令和6年9月11日

特別号

府中市立白糸台小学校
校長 堀越新一

白糸台小学校の教育について（前期を振り返って）アンケート結果

7月に実施した前期保護者アンケートにご協力くださり、ありがとうございます。皆様からいただいたご回答の集計及び考察を以下にお示しします。

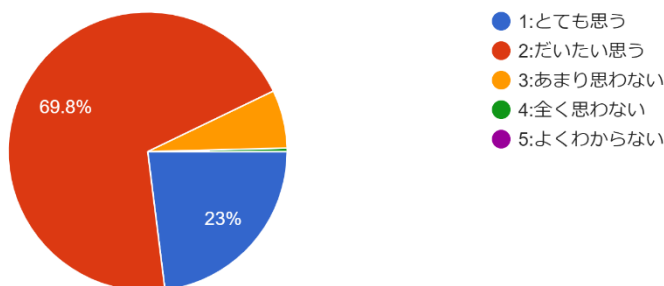
学校・家庭・地域が協働し、笑顔あふれるみんなの学校づくりを目指して活用していきます。引き続き、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

いくつかの項目で、右に関連ある児童（4～6年生）の回答も掲載しています。

【学校に関する項目】

①「学校は」教育方針や活動内容、児童の様子を...者会、学校公開や学校だよりなどで伝えている。

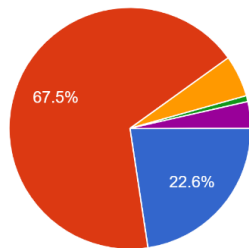
252件の回答



令和5年度2学期より、スマート連絡帳で学校（学年）だよりを配信しています。保護者の皆様の要望の中に、紙ベースの学校（学年）だよりが欲しい、との声がありました。担任にお声掛けください。「授業の支援などに参加したいので、できるだけ早く予定を知りたい」、という声もいただきました。2か月分の予定を配信できるようにしたいと考えています。

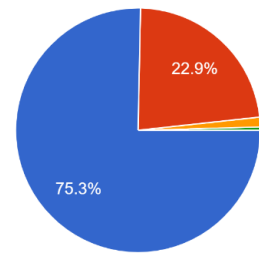
これまでも学校HPのブログ欄を活用し、学年ごとまた専科から行事等、学校の様子を発信してきました。今後も継続して発信してまいります。

②「学校は」児童の安全（火災や地震、不審者への対応）について配慮している。
252 件の回答



- 1: とても思う
- 2: だいたい思う
- 3: あまり思わない
- 4: 全く思わない
- 5: よくわからない

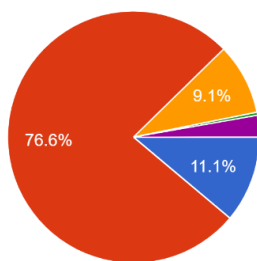
○ 自分の安全は自分で守ろうと心がけている。
231 件の回答



5月に「不審者対応訓練」を行いました。府中警察署の方々が犯人役となり、教職員が対応しました。その後、体育館で全校児童に向けて、不審者対応についての講話がありました。夏季休業中には、教職員対象の訓練も行いました。

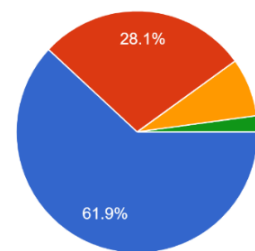
避難訓練を毎月、計画的に実施しています。火災や地震だけでなく、不審者対応や電源喪失など、様々な想定での訓練を行っています。場面を想定することで、児童は個々に考え、周囲の様子を確認しながら学んでいます。児童は常に真剣に取り組んでおり、「自分で自分の命を守る」という意識は高まっています。

③「学校は」施設や設備を管理し、健康で安全に生活する環境となっている。
252 件の回答



- 1: とても思う
- 2: だいたい思う
- 3: あまり思わない
- 4: 全く思わない
- 5: よくわからない

○ 学校は安全なところである。
231 件の回答



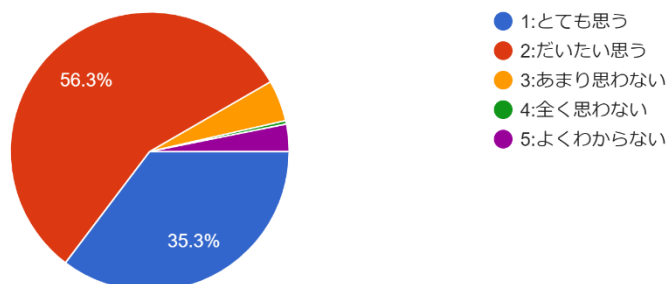
昨年度、校舎内のトイレの修繕作業が終わり、児童は快適に使用しているようです。一方、体育館のトイレを含めた改修に関しては、改善を図るよう努めています。

施設の安全点検は、教職員が毎月行っています。屋内外問わず、不具合を見付けたら、迅速に修繕等の対応を取っています。

9割の児童が、学校が安全だと回答していますが、全ての児童が安心して通える学校を目指してまいります。

④「教職員は」保護者との面談や問い合わせについて、誠実に対応している。

252 件の回答



夏休みの個人面談で、お子さん一人一人の学校生活や授業での様子や成長、課題等についてお伝えしました。学期中は、必要に応じて、ノートの連絡帳や電話等で様子を伝え合うなど、家庭と学校との連絡を密に取るようにしています。

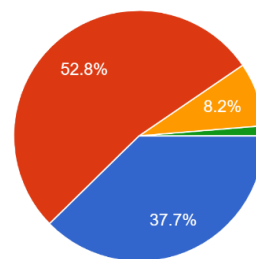
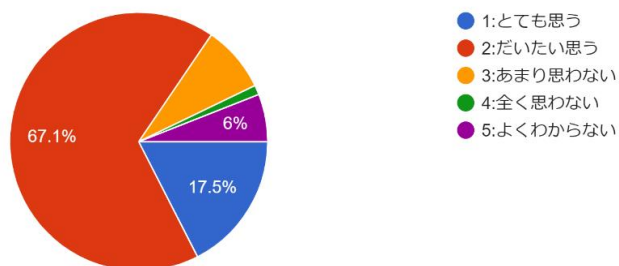
スマート連絡帳については、ご家庭から出欠確認を連絡していただくようお願いしています。お子さんの健康、安全に関わることでありますので、決まった時間までに連絡していただきますようお願いいたします。スマート連絡帳で各家庭と個々で連絡を取ることはしていません。個人情報保護のためです。ご了承ください。

⑤「教職員は」一人一人の理解状況に合わせて、基礎学力の定着に努めている。

252 件の回答

○ 授業で学んだことを理解できている。

231 件の回答

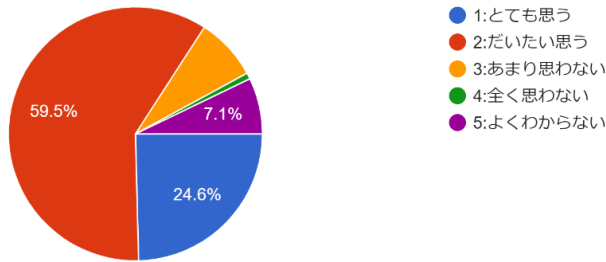


今年度から、教科用図書が変わりました。知識の定着を図ることはもちろん、学習内容の理解を確認するために、説明や振り返りを行っています。また、教職員は、夏季休業中に各学年の学習における課題を話し合い、その課題を改善するために授業内容や児童が主体的に学んでいく学習の進め方、タブレット端末の有効な活用を考えています。

7月に公開された学力調査（国語・算数）の結果からは、白糸台小学校は、全国や東京都の平均正答率より数値が高く、基礎的基本的な学力が定着していると考えられます。校内研究においても、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指し、授業展開しています。

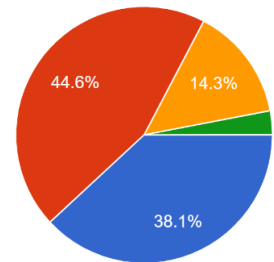
⑥「教職員は」児童の声に耳を傾け、受けとめようとしている。

252 件の回答



○ 先生が良いところをほめてくれる。

231 件の回答



新しい学年が始まり、全ての学年でクラスの友達や担任が変わりました。子供たちがスムーズに学校生活ができるよう、児童とコミュニケーションを取り、1学期進めてきました。クラス担任だけでなく、学年や専科、学校全体で子供たちの様子を見て、教職員は積極的に子供に声を掛けるようにしています。

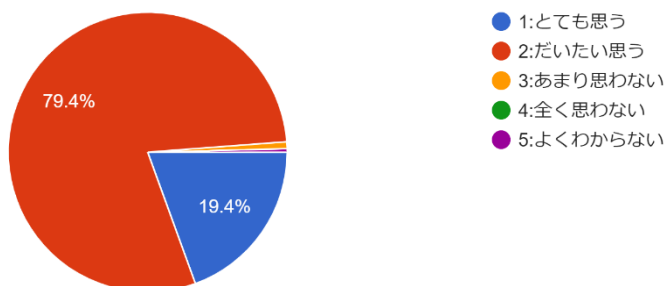
また定期的に、児童理解に関する会議等を行い、全教員で共通理解を図っています。児童一人一人の様子を伝え合うだけでなく、対応の仕方や今後の方針を確認し、2学期以降も「認めて ほめて 伸ばす」を実践していきます。

さらに、SC（スクールカウンセラー）や巡回心理士、学習支援員等とも連携し、組織的な児童理解に努めています。

【ご家庭に関する項目】

⑦「家庭は」お子さんの声に耳を傾け、受けとめようとしている。

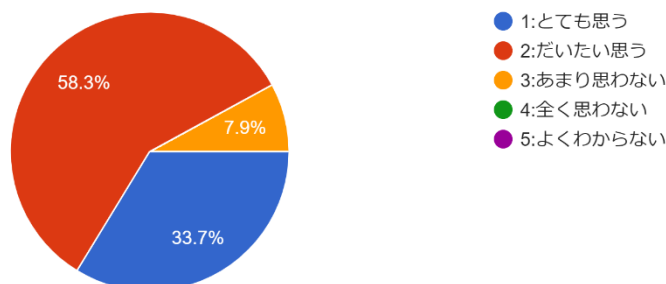
252 件の回答



ほとんどのご家庭が、お子さんの声を受けとめようとしてくださっています。各ご家庭が子供たちの声を受けとめていることが、本校の子供たちの心の安定につながっています。今後とも、お子さんの話を聞く時間を大切にさせていただきようお願いします。

⑧「家庭では」学校や友達との出来事が話題になる。

252 件の回答



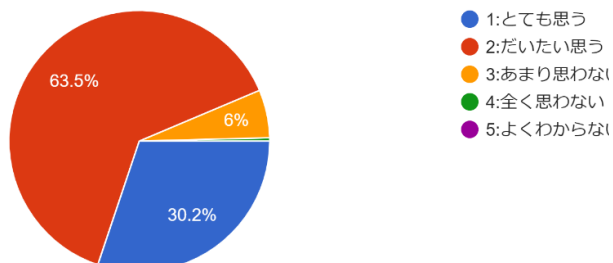
9割以上のご家庭で学校や友達の話話が挙がっています。授業の様子だけでなく、休み時間や給食の時間など、多くの話題が出ていることと思います。

2学期は、運動会や学習発表会などの行事があります。ご家庭でも、話題にしてみてください。

【お子さんに関する項目】

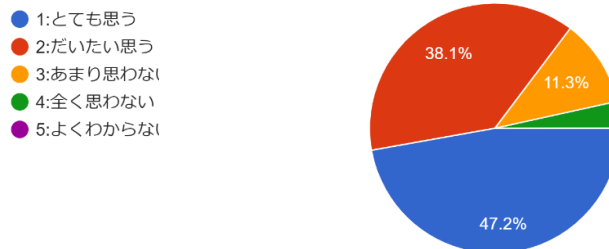
⑨「お子さんは」楽しく学校生活を送っている。

252 件の回答



○ 学校へくるのが楽しい。

231 件の回答

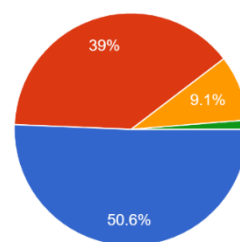
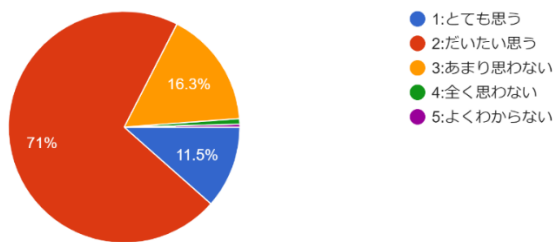


⑧の「学校や友達との出来事が話題になる」の項目が9割を超えていることから、友達との関わり方がより密になり、学校生活の充実につながっているのではないかと考えています。もちろん、学校生活のほとんどが授業なので、子供たちが学びを楽しめるように「できた」「分かった」を導き出すように授業内容の改善を図り、全ての児童が「楽しい」と感じるような学校を目指します。

「たてわり活動」など、異学年での交流の充実も白糸台小学校の特色になっています。全校児童が互いにふれあうような機会を大切にしていきます。

⑩ 「お子さんは」基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い、早寝早起きなど）が身に付いている。 252 件の回答

○ 自分からすすんであいさつをしている。 231 件の回答

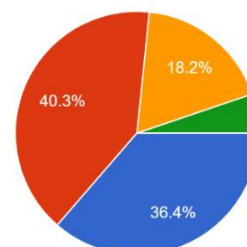
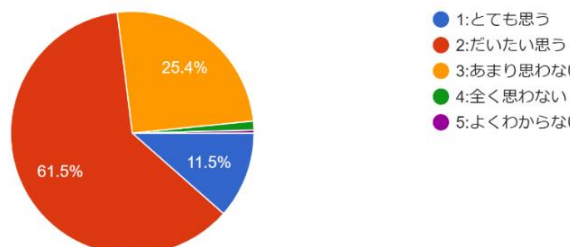


生活習慣、とりわけ起床就寝に関しては、できるだけ同じ時間に寝起きすることで、十分な睡眠時間を確保することや生活リズムを安定させることができます。加えて、朝食の摂取や自分が自由に使える時間が増えるなど、プラスの作用もあります。ご家庭でのご支援をお願いします。

コミュニケーション能力を求められる今現在、挨拶は人と人を最初につなぐツールになっています。校内だけでなく、登下校を見守ってくださる地域の皆様にも、すすんで挨拶するよう話しています。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など、教職員と保護者が率先して見せていきましょう。

⑪ 「お子さんは」家庭学習の習慣が身に付いている。 252 件の回答

○ 宿題や自主学習など家で勉強する習慣がついている。 231 件の回答



結果を見ると「とても思う」と答えている割合が、保護者と児童で大きく違います。7割強の肯定的評価となっているのは一致していますが、この項目のアンケート結果では、実は3年連続で保護者の肯定的評価の割合が減っています。

家庭学習という言葉は、勉強を強くイメージするものですが、例えば、『読書の時間』を確保することで、読み取りや言葉の学習にもつながり机に向かう習慣もついていきます。継続して行えるよう、ご家庭でも支援や指導をお願いします。